

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-289400

(43)公開日 平成7年(1995)11月7日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 F	7/19	A		
	8/00	Z		

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-109164

(22)出願日 平成6年(1994)4月26日

(71)出願人 594085188

有限会社ケーアンドエスコポーレーション
神奈川県相模原市上鶴間六丁目30番18号

(72)発明者 小宅 慎一

神奈川県相模原市相模大野四丁目5番地5
-311 有限会社ケーアンドエスコポー
ーション内

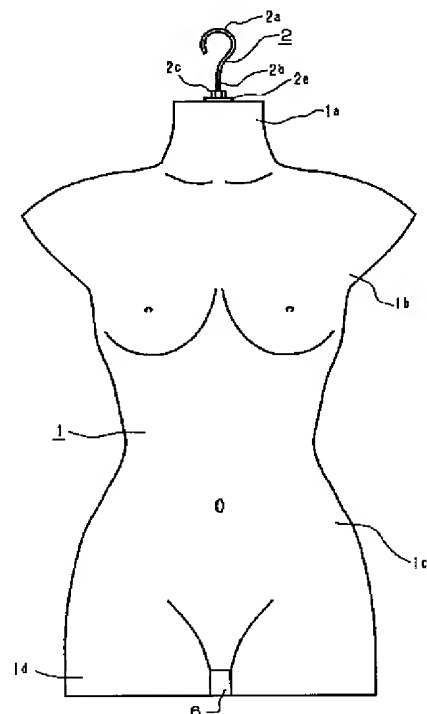
(74)代理人 弁理士 望月 秀人

(54)【発明の名称】 商品展示用ハンガー

(57)【要約】

【目的】 衣服などの商品を展示するのに適した商品展示用ハンガーであって、狭い店舗などでも多数の商品を立体的に表現して展示することができ、保管の際のスペースが小さくてよく、運搬の際の利便性を向上させて、従来のマネキン人形に代るものを提供する。

【構成】 人体の頸部と胸部、腹部、股部の僅か下部までの部分を含む前半部の外側面に沿った形状に合成樹脂などの薄板材によって形成した主体部1の上下端縁部に、それぞれ上壁部3と下壁部4とを形成して、上壁部3に鉤部2を取り付ける。主体部1は前面を人体を模倣した形状に形成し、背面を開口5として容器状にするとともに、該開口5の周縁部を僅かに拡開して一の主体部1の背面から該一の主体部1の内部に他の主体部1を収容できるようにしてある。大腿上部1dの間部分をリブ部6で接続して当該部分を補強してある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 人体の腕部を除く少なくとも頸部から股部の僅か下部までの部分を含む前半部の外側面に沿って薄肉材によって形成し、上下端縁部にそれぞれ上壁部と下壁部とを形成した主体部と、

上記主体部の上壁部に設けた吊り下げ用の鉤部とを有し、

上記主体部の前面は人体の前面を模倣して形成し、背面を開口してあることを特徴とする商品展示用ハンガー。

【請求項2】 前記背面の開口の縁部が外側に向って適宜に拡開されて、一の主体部の背面から該一の主体部の内側に他の主体部を収容することにより、順次主体部を重畳できることを特徴とする請求項1に記載の商品展示用ハンガー。

【請求項3】 前記鉤部が前記主体部に着脱自在であることを特徴とする請求項1または2のいずれかに記載された商品展示用ハンガー

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、洋服などの衣服を掛けるためのハンガーに関し、特に売場面積の小さいブティックやバーゲンセールのような短期間の催し事などにおける商品のディスプレイに適した商品展示用ハンガーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】洋服などを販売する際に、購買者に対して洋服を着た状態がどのようになるかを示す目安とするために、商品をマネキン人形に保持させて展示することが行なわれる。従来のこの種の一般的なマネキン人形は、人体の全身を型取った模型を台座に固定して構成したものや、あるいは、半身からなるマネキン人形では、脚部や台座に支柱を起立させ該支柱に人体の上半身など一部を型取った模型を保持させてあり、床面に設置するようにしてある。この人体の模型部に任意の商品を保持させ、必要に応じてネックレスなどのアクセサリなどを飾るなどして、購買意欲を喚起し、販売の促進を図ろうとするものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した従来のマネキン人形を使用したディスプレイ方式では次のような問題が生じている。

【0004】従来のマネキン人形は床面に設置して使用するため、自重と保持させた衣服などの重量を支えなければならないとともに、容易に転倒するものであってはならないから、台座や脚部が大きくなってしまふ。また、支柱も模型部や保持させた衣服を十分に支えて座屈しないようにしなければならない。このため、この種のマネキン人形は比較的重量があり、女性にとって扱い難いものとなっている。さらに、比較的重量があるものであるため、商品の展示形態を変更したりするためのマネ

キン人形の移動も容易ではない。

【0005】また、立体的な人体の模型部を有しているため、いずれの方向からも商品を確認できる利点があるが、そのために設置スペースを広く必要とし、売場面積の小さな店舗で多くの商品を展示しようとする場合には不向きである。なお、売場面積の狭い店舗などではマネキン人形を壁面に沿って配置してあり、商品を360°全ての方向から確認することができにくい状態となっている。そのため、狭い店舗などでは商品をハンガーに吊るした状態では、その商品の立体的イメージを捉え難い。また、ツーピースドレスやスーツなどのように上下に分割されている衣服をハンガーで展示する場合には、ハンガーに掛止用の紐を止着して、該紐でスカートやスラックスを吊り下げ、ハンガーに上衣を保持させるとともに該紐が外側から容易に認められないようにしなければならぬから、展示作業が煩雑となってしまう。

【0006】さらに、不使用時の保管の際にも設置スペースを広く必要とするから、保管のための無駄なスペースを必要とする。

【0007】また、広い会場で一定期間行なわれるようなバーゲンセールなどの催し事の際には、多くのマネキン人形を会場に搬入しなければならない場合があり、そのときの運搬作業が煩雑となっている。すなわち、トラックなどでマネキン人形を運搬する場合、マネキン人形を起立させて搬送するから、一度に数体しか運搬できず、運搬回数が多くなったり、あるいは運搬するトラックを大型のものにしなければならず、輸送コストが大きくなってしまふ。

【0008】加えて、台座と支柱、模型部とからなる構造であるため、製造コストの削減に限界があり、現状以上に安価に提供し難くなっている。しかも、スラックスを保持させる場合には、該スラックスの一方の脚部を上記支柱に挿通させる必要があるから、該支柱が上記模型部または台座に対して着脱自在とされていなければならない。このような構造とするためにさらに製造コストが増加してしまふ。

【0009】そこで、この発明は、従来のマネキン人形に代るものとして、簡単な構造で安価に提供でき、運搬や保管の利便性がよく、商品を立体的に展示することができるとともに、ワンピースはもちろんツーピースなど広範囲の衣服を容易にかつ確実に保持できる商品展示用ハンガーを提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するための技術的手段として、この発明に係る商品展示用ハンガーは、人体の腕部を除く少なくとも頸部から股部の僅か下部までの部分を含む前半部の外側面に沿って薄肉材によって形成し、上下端縁部にそれぞれ上壁部と下壁部とを形成した主体部と、上記主体部の上壁部に設けた吊

り下げ用の鉤部とを有し、上記主体部の前面は人体の前面を模倣して形成し、背面を開口してあることを特徴としている。

【0011】また、保管の際のスペースをより小さくし、運搬時にもより多くの商品展示用ハンガーを運搬できるように、前記背面の開口の縁部が外側に向って適宜に拡開されて、一の主体部の背面から該一の主体部の内側に他の主体部を収容することにより、順次主体部を重畳できることを特徴とし、さらに、主体部の重畳が隙間なく行なえるように、前記鉤部が前記主体部に着脱自在であることを特徴としている。なお、開口が最大の幅員部となる場合には、開口に沿って拡開することなく主体部を重畳させることができる。

【0012】

【作用】店舗の壁面などに設けられた吊り下げ用のフックに上記鉤部を掛止させると、該壁面から上記主体部によって形成された人体の半身前半部が立体的に飛出した状態となる。この主体部に商品である衣服を保持させることによりその商品を立体的に表現することができ、購買者に確実に商品イメージを提供できる。

【0013】また、人体を型取った形状であるため、スカートやスラックスなどを保持させることができるため、ツーピースやスーツのディスプレイを容易に行なうことができる。

【0014】しかも、主体部が人体の前半分で形成され、背面を開口し、さらにこの開口の縁部を外側に向って適宜に拡開した形状とすることにより、主体部を重畳させることができる。なお、主体部を人体の最大の幅員となる部分から前部に互る形状に形成すれば、上記開口が最大幅員の部分となるから、開口に沿って拡開しなくとも主体部を重畳することができる。

【0015】

【実施例】以下、図示した実施例に基づいて、この発明に係る商品展示用ハンガーを具体的に説明する。

【0016】図1はこの発明に係る商品展示用ハンガーの正面図であり、前面に頸部1aと胸部1b、腹部1c、大腿上部1d、即ち人体の腕部を除く少なくとも頸部から股部の僅か下部までの部分を含む前半部を模倣した形状が形成された主体部1と、この主体部1の上部に取り付けられた鉤部2とが示されている。主体部1は図2および図5に示すように、薄肉の板材を人体の上半身の前半部の外側面に沿った形状に形成されており、上下の端縁部にはそれぞれ上壁部3と下壁部4が形成されている。すなわち、図1と図3、図4に示すように、この主体部1の前面は人体の前面を模倣した形状に形成されている。また、背面は開口5とされて容器の状態に形成され、主体部1の内側から該開口5にかけて徐々に適宜に拡開されている。さらに、左右の大腿上部1dの間部分にはリブ部6が形成され、左右の大腿上部1dが接続されている。このリブ部6の背面側は開口5よりも適宜に内側部分に位

置しており、該リブ部6が形成された位置で左右の上記大腿上部1dの下側を閉じる上記下壁部4が連続している。

【0017】なお、本実施例で説明する主体部1は合成樹脂を素材として肉厚約0.8mm、鉤部2を含まない全長が約715mm、最大幅員が約340mmで形成されたもので、重量約200gである。

【0018】上記主体部1は合成樹脂を成形加工して形成すれば軽量なものとすることができるが、素材は適宜な肉厚を有する紙や金属板、グラスファイバ、FRPなどを加工したものであっても構わず、軽量で十分な強度が得られるとともに安価な素材であることが望ましい。

【0019】そして、前記鉤部2は主体部1の前記上壁部3に着脱自在に取り付けられており、この鉤部2によって所望の部位に掛止できるようにしてある。この鉤部2は適宜な径の線材からなる鉤部材を主体として構成され、該鉤部材の先端が適宜に曲げ形成されて掛止部2aとされ、基端部にネジ部2bが形成されている。他方、上記上壁部3の中央部には図示しない透孔が形成されており、鉤部2のネジ部2bがこの透孔を貫通するようにしてある。また、ネジ部2bには一対のナット2c、2dが螺合するとともに、上壁部3の外側には外側ワッシャ2eが組み込まれ、また内側には上壁部3の形状に沿ってほぼ半円形に形成された内側ワッシャ2fが組み込まれている。なお、鉤部2は着脱自在でなくてもよく、例えば主体部1を金属の薄板などで形成するように強度上の保証がある場合には主体部1と一体成形することもできる。さらに、鉤部2を着脱自在とする構造はこの実施例に示す構造に限らず、他の構造であっても構わない。たとえば、上壁部3に背面側から鉤部材を挿通できる適宜な幅員の切込みを形成するとともに、内側ワッシャ2fにもほぼ等しい幅員の切込みを形成し、鉤部材の基端部の一部をこの幅員よりも大きな径に拡径して係止部を形成した構造などであっても構わない。この構造では、上記内側ワッシャ2fの切込みを上壁部3の切込みに合致させた状態で、背面側から鉤部材の基端部を上記係止部が内側ワッシャ2fの内側となる状態で切込みの奥部まで差込み、内側ワッシャ2fを鉤部材を中心に回転させて該内側ワッシャ2fに形成した切込みを上壁部3の上記切込みから外れた状態にするようにして主体部1に鉤部2を取り付ける。

【0020】また、鉤部2は円弧状に湾曲させて形状のものを示してあるが、このような形状に限らず、店舗の壁面などに設けられた所望の吊り下げ用のフックに掛止することができるものであればよい。

【0021】以上により構成したこの発明に係る商品展示用ハンガーの実施例について、その作用を以下に説明する。

【0022】この商品展示用ハンガーを使用する場合には、主体部1の上壁部3に鉤部2を取り付ける。すなわ

ち、鉤部材の前記ネジ部2bに前記上側のナット2cを螺合させて適宜な位置まで前進させ外側ワッシャ2eをネジ部2bに嵌装し、該ネジ部2bを上壁部3の図示しない透孔に外側から挿入してナット2cと外側ワッシャ2eを主体部1の外側に位置させ、上壁部3の下側に突出した部分に内側ワッシャ2fを嵌装して下側のナット2dをネジ部2bに螺合させて締め付ければ、鉤部2が主体部1に取り付けられる。

【0023】そして、主体部1に所望の商品である衣服を保持させて、鉤部2を店舗の壁面などに掛止させれば、該衣服が展示された状態となる。しかも、主体部1は人体を模倣して形成されているから、該衣服が立体的に表現されて展示される。なお、本実施例における商品展示用ハンガーでは、約33m²の店舗の3面に約30体を展示することができる。

【0024】また、保持させることができる衣服としては、ワンピースやブラウス、セーターなど種々のものを保持させることができる。さらに、ツーピースやスーツなどのように上下に分割されている衣服を展示する場合には、主体部1の腹部1cの腰の部分にスカートやスラックスを保持させれば、主体部1は人体を模倣した形状に形成されているから、スカートなどが脱落してしまうことがない。次いで、胸部1aに上衣を保持させればよい。

【0025】しかも、主体部1は人体を模倣した形状に形成されて適宜な凹凸が形成されており、また大腿上部1dには左右の大腿上部1dを接続したリブ部6が形成されているので、主体部1の幅方向に関して十分な強度が得られ、保持させた衣服の重量によって該主体部1が変形したりすることがない。したがって、衣服が脱落してしまうことがなく確実に保持することができる。

【0026】また、主体部1の背面の開口5が外側に拡開されているものでは、多数の主体部を重畳させることができるので、大きなスペースを必要とせずに多数の商品展示用ハンガーを保管することができ、運搬する場合には一度に多数の商品展示用ハンガーを運搬することができる。なお、主体部1を人体の最大の幅員となる部分から前部に互る形状に形成すれば、上記開口5が最大幅員の部分となるから、該開口5の部分を拡開しなくても主体部1を重畳することができる。なお、本実施例で説明した主体部1は、長さ800mm、幅員400mm、深さ300mmの箱に約40体収容することができる。

【0027】上述した実施例では、主体部1の背面には全体に互って開口5が形成されているものについて説明したが、主体部1に保持させる衣服によっては主体部1に大きな強度が要求される場合がある。たとえば、オーバーコートのような比較的重量の大きな衣服を展示する場合に用いられる商品展示用ハンガーでは、主体部1に十分な強度を備えさせるために、背面の開口5に水平方向に帯板などを掛け渡した形状のリブを形成したのもでも構わない。このリブを主体部1に対して着脱自在とし

ておけば、運搬時などに主体部1を重畳させることもできる。

【0028】本実施例では、比較的忠実に人体の外形を模倣した形態を示してあるが、さらに変形させてもよい。すなわち、保持させた衣服のシルエットが美しく表現される形態であれば、例えば各別に膨出させてある胸部1bの左右の乳房を、連続させた形状で膨出させてあっても構わない。また、本実施例では、頸部1aと胸部1b、腹部1c、大腿上部1dとを有した主体部1について説明したが、展示する衣服の種類によって主体部1の構成を変更することもできる。たとえば、セーターなどを展示する場合には大腿上部1dがセーターの裾から突出していると不都合であるから、セーターなどの展示専用のものでは大腿徐部1dや腹部1cの全部あるいは下部は不要で、これらの部分を含まない主体部1とすることもできる。

【0029】

【発明の効果】以上説明したように、この発明に係る商品展示用ハンガーによれば、前面を人体の前半部を模倣した形状に形成した主体部に商品である衣服を保持させて展示できるから、商品を立体的に表現することができ、購買者が商品のイメージを容易に立体的に捉らえることができる。したがって、購買者が容易に商品を把握することができ、購買者の購入の判断が容易に行なわれ、購買意欲の高揚を期待できる。

【0030】しかも、壁面に掛止することによって商品を立体的に表現できるから、狭い店舗であっても展示された商品を確実に表現することができるとともに、多数の商品を展示することができる。また、商品を壁面に吊り下げることになるから、壁面の高所に展示することができ、購買者の注意を効率よく引き付けることができる。

【0031】さらに、従来のマネキン人形に較べて軽量であるから、取扱いが簡単であり、商品の展示作業を迅速に行なうことができ、催し事などにとって最適のものとなる。また、従来のマネキン人形と較べて保管スペースが小さくてよいとともに、多数のものを簡単に運搬することができる。

【0032】加えて、薄肉材を用いて形成することができるとともに、簡単な構造であるから、安価に提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る商品展示用ハンガーの正面図である。

【図2】この発明に係る商品展示用ハンガーの背面図である。

【図3】図1における右側面図である。

【図4】図1における底面図である。

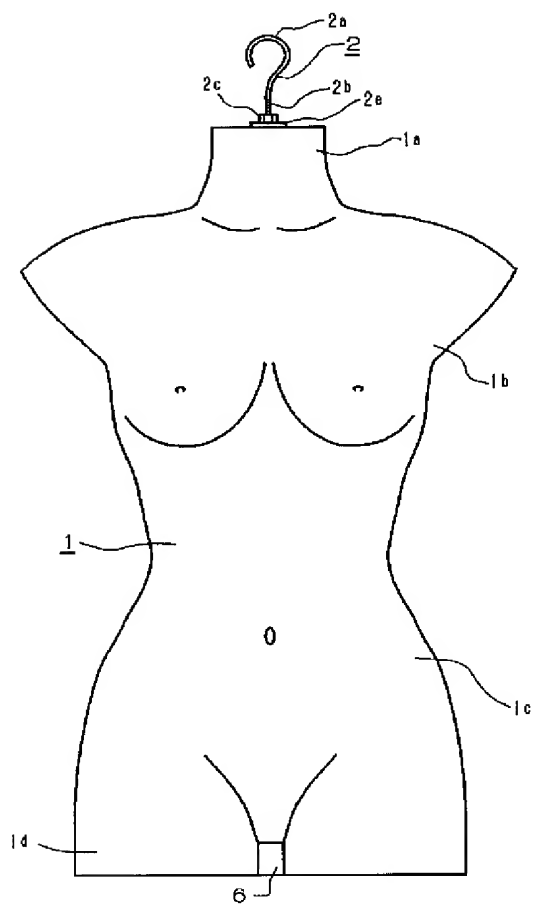
【図5】この発明に係る商品展示用ハンガーの斜視図で、複数のものを重畳する状態を説明する図である。

【符号の説明】

7

- 1 主体部
- 1a 頸部
- 1b 胸部
- 1c 腹部
- 1d 大腿上部
- 2 鉤部
- 2a 掛止部
- 2b ネジ部

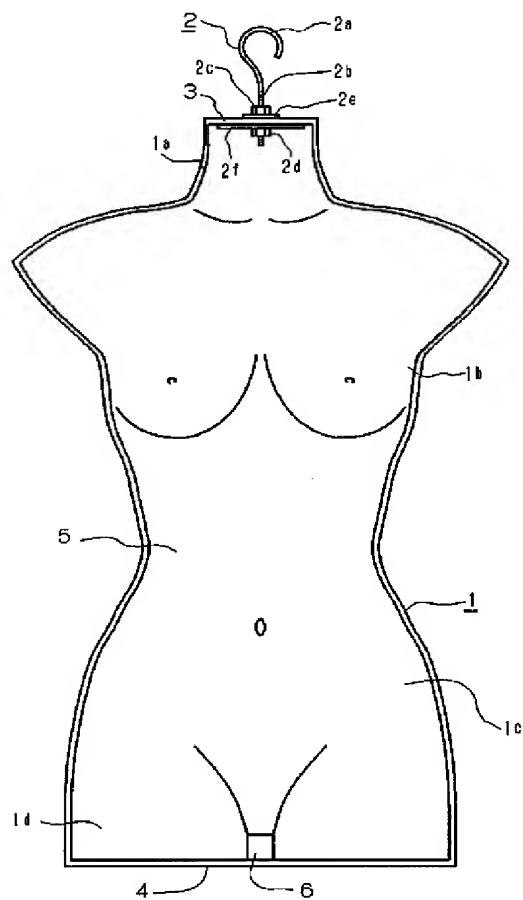
【図1】



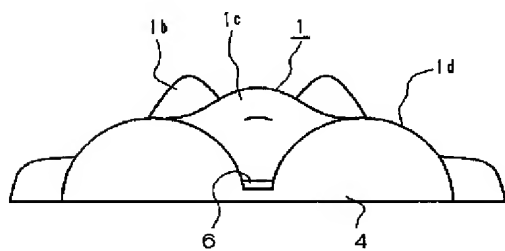
8

- 2c、2d ナット
- 2e 外側ワッシャ
- 2f 内側ワッシャ
- 3 上壁部
- 4 下壁部
- 5 開口
- 6 リブ部

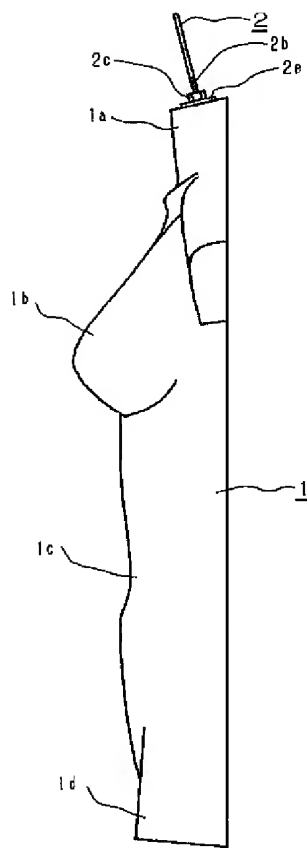
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

